

区長会議 会議次第・議事概要

日 時 平成 29 年 4 月 3 日 (月)

15 : 15 ~ 15 : 40 (公開)

場 所 市役所 5 階 特別会議室

1. 吉村市長 中尾副市長

【要旨】

吉村市長、中尾副市長より訓示が行われた。

〈吉村市長〉

- ・公募区長制を導入してから、多くの市民・区民の方からはプラスの評価を頂いていると思っている。今後も、事なかれ主義ではなく、仮に失敗が起きても最終的には私が責任を負うので、それぞれが区のトップとして積極的に色々なことに取り組んでほしい。
- ・区長会議ではいろんな意見をまとめてもらうよう、部会長、プロジェクトチームのリーダーを私から指名した。様々な案件について、積極的に意見を出して進めてほしい。
- ・私と区長の皆さんとのコミュニケーションについては、中尾副市長のマネジメントのもと私の方に意見が届くよう、今後、更に進めてもらいたい。
- ・市政改革について、議会の指摘もあり、市政改革プラン 2.0 に「区政編」を作ってもらっている。今後も市政改革室と区長との連携作業であることを意識し、責任を持って進めてもらいたい。
- ・監査から、それぞれの区役所において同じ業務なのにプロセスが全然違うことが指摘されている。これは非効率でありミスも生じやすい。区の横の展開について、横串の挿し方をぜひ意識してもらいたい。
- ・不祥事が起きると一挙に信頼がなくなる。だからといって、隠蔽はいけない。悪い情報でも上司に報告できるような空気作りをやっていかないといけない。悪い情報が出てきたときにこそしっかりと外に出す。批判を受けることになるが、それにより改善する効果もある。それが、ひいては市民の皆さんの被害も少なく済むということになる。市民の信用を得るためにも、区長の皆さんの役割は重大なのでそこは肝に銘じてほしい。
- ・区政については皆さんに任せるが、一定方針を示したものについては、それに従ってやってもらいたい。どうすれば実行できるのかという観点から推し進めてもらいたい。その都度、大きな方向性を指示するときはそれに従って進めてもらいたい。
- ・地域の方々あるいは区の選出の議員ともしっかりとコミュニケーションをとってもらいたい。議員は、票を受けて大阪市全体の代表であり、その後ろにはそれだけの市民がいるということを踏まえほしい。いろいろ考え方の違いはあるにせよ、コミュニケーションをしっかりと図っていただきたい。これは、従えという意味ではなく反対の立場の人であって

もしっかりとコミュニケーションをとるという意味。それが最終的に色んな合意形成にもつながってくると思うし、物事を進めていく上でも大切になってくると思っている。

〈中尾副市長〉

- ・市長や私からの指示事項、議会に対しての約束事項について、複数の区あるいは24区に関わるものは、区政支援室で進捗管理をしていただきたい。途中経過でもよいので、市長なり私なりに報告してもらおう。キャッチボールをしながら、お互いに情報交流をして深めていきたいと思っている。
- ・不適切な事務の発生件数が減っていない。各区に電話をした中で、隠そう隠そうと、被害の程度を小さく認識してもらおうというような対応を見受ける。職場の中で議論をして、できるだけ多くの人に状況を知ってもらい、仕事のやり方の改善に力を注いでいただきたい。辛抱強く対応してほしい。
- ・総合区の議論が進んでおり、特別行政区については追々区数もあがってくるだろう。今現在、区割りが決まっていないから議論が進まないという課題、ペンディングになっている課題など、議論を横置きにしているものがあるが、区として主体的に、区での仕事の進め方について議論をスタートしたい。
- ・目標管理シートについて、取組みと成果目標が一致していない例がある。今一度、制度の趣旨に立ち戻ってきっちり書いていただきたい。
- ・4月19日に今年度第1回目の会長・部会長会議を開く予定である。年間を通しての検討予定項目の内容と検討方針について議論したい。
- ・副市長への相談の方法として、3人ないしは2人の副市長と一緒に話を聞いてほしいときは、言ってもらえばそのようにする。

2. その他

特になし

区長会議 会議次第・議事概要

日 時 平成 29 年 4 月 3 日(月)
15:40～15:50 (非公開)
場 所 市役所 5 階 特別会議室

1. 会長からの報告

会長から、平成 29 年度区長会議の体制について報告があった。その他、市民局区政支援室長から事務連絡があった。

2. その他

特になし